

ろ過装置の仕組みを見てみよう！

川崎市・市内企業研究開発 成果理解促進活動支援事業

査や製品開発のための実験を行っている様子や、子供のごくに心があつたことなどがメッセージとして送られて、50分の授業は終了した。

理科の学習内容が製品に活用される

2月27日、温泉施設やプールなどの水をろ過する装置を活用した出張授業「貴重な水を再利用する」が、川崎市立中野島中学校の1年生を対象に実施された。

「ろ過」についての知識を伝えることを知った生徒を確認。ろ過は漏斗とろ紙を使用する実験だけでなく、自然界でも雨として降ったものが地面を通り、ろ過されて地下水となつて循環することが説明された。

次にショウエイのろ過装置が、温泉施設や市内のスポーツクラブ、客船の中でも使用されていることを紹介。大量の水がろ過される場所が活躍していることがわかった。

川崎市の「市内企業研究開発成果理解促進活動支援事業」として開催されたこの授業は、市内の中小企業が、川崎市、株式会社きょうせい、NPO法人企業教育研究会と協働してプログラムを制作する。今年度はショウエイの他、東京精密機器株式会社と株式会社エスビ

ろ過された水を再利用する装置の仕組みとは

ろ過装置で実際に水の汚れをろ過した。汚れが浮いている水が装置の中にある砂と砂利の層を通過する

ろ過と逆洗の方向に水を流して汚れを浮かせて排出する「逆洗」という機能がある。再びろ過装置の前に集まり、逆洗の様子を観察した。さらに、ろ過では除去されない細菌は人体に悪影響を及ぼすこともあるため、塩素消毒がされていることが紹介された。

最後に、藤原さんの日常の仕事を紹介。水質検査や製品開発のための実験を行っている様子や、子供のごくに心があつたことなどがメッセージとして送られて、50分の授業は終了した。

この授業に関する問い合わせは、川崎市経済労働局産業政策部企画課（電話：044・2000・3414）まで。

学校企業NPO de 授業づくり



ろ過装置の仕組みを解説する藤原さん

濁った水のろ過を教室で実演